

占冠地区の方向性【概要版】

1 地区の概要

(1) 人口等（平成26年3月末現在 住民基本台帳人口）

人口	世帯数	0~14歳人口	65歳以上人口	高齢化率
118	81	2	40	33.9%

※地域振興住宅楓Aを除いた人口等

人口	世帯数	0~14歳人口	65歳以上人口	高齢化率
92	55	2	40	43.5%

(2) 主な施設等

JR 占冠駅、物産館、
占冠地域交流館、湯の沢温泉、
商店、野生獣解体加工施設

2 今後の動向

- 10年後は数世帯ほど減少している可能性があり、さらに15年後、20年後はさらに数世帯が減少している可能性があります。現在に比べ世帯数が大きく減少はしておらず、多くの世帯はそのまま残っているため、地域での共同生活の維持が直ちに困難になることはありませんが、高齢化の進展に伴う各種課題は増加しているものと予想されます。
- 地区の課題 (1)コミュニティの維持・活性化 (2)高齢者支援 (3)子育て支援

3 地区のめざす姿（概ね10年後の理想）

- 山菜、野生動物、温泉などの資源に恵まれ、豊かな自然に囲まれた静かで安全な「占冠地区」
- 地域の団結力を生かし、住民同士が楽しく集い、助け合う「占冠地区」

4 今後の取組の方向

(1) 住民が取り組むこと

○地域の団結力を生かした住民主体の活動の展開

- ・今後も、無理なく楽しみながら活動を継続し、地域のつながりを大切にします。
- ・見守りや安否確認などの活動の輪を広げるよう努めます。
- ・防災知識等の習得や災害時の体制づくりなど、地域の安全・安心の確保に努めます。

○地区出身者（村内他地区、村外）に対する行事・活動への参加の声かけ

- ・村内他地区や村外の出身者に声かけし、出身者による応援団を確保するよう努めます。

○移住者へのサポート

- ・アドバイスや声かけなど、新人が参加しやすい雰囲気づくりに努めます。

(2) 行政が取り組むこと

○地域コミュニティの活性化

- ・高齢者向け行事等の地区別開催
- ・民間団体や学校等と連携したコミュニティの活性化
- ・伝統芸能の振興を通じたコミュニティづくり

○防災対策の推進

- ・地域防災計画に基づく防災事業の推進
- ・防災知識等の普及や防災訓練の実施等による災害予防の実施

○高齢者支援の推進

- ・医療従事者の確保
- ・除雪支援の継続
- ・介護サービスの充実
- ・見守り・安否確認の実施体制の充実

○地域交通の維持

- ・地域交通の維持、各種状況やニーズを踏まえた地域交通の内容等の見直し

○子育て環境の整備の推進

- ・子育て支援の充実
- ・子育てに関する意識啓発の推進